

2009年3月期 決算説明

成長と変革、そして未来へ

2009年5月8日



MES

三井造船株式会社

08年度決算のポイント

1. 下半期に入り受注減速

- ・世界的な金融危機から景気後退(世界同時不況)
- ・各企業の投資計画の見直し
- ・円高進行

2. 過去最高の売上高

- ・旺盛な需要による高い受注残高
- ・高操業のなか着実な売上計上

3. コストダウンで利益に寄与

- ・経費削減
- ・効率化投資効果

連結決算の概要

(単位：億円)

	07年度 実績	08年度 期初予想	08年度 修正予想	08年度 実績	09年度 予想
受注高	8,054	8,200		8,019	5,000
売上高	6,592	7,100	6,850	6,867	7,200
営業利益	361	350	260	269	270
経常利益	322	320	230	234	240
当期 純利益	166	160	105	106	115

*08年度修正予想は09年4月10日発表の修正予想数値

①

① 受注高	07年度 実績	08年度 実績
船 舶	3,789	4,218
鉄 構 建 設	644	1,042
機 械	2,390	2,042
プ ラ ン ト	1,001	502
そ の 他	231	215
合 計	8,054	8,019

②

② 売上高	07年度 実績	08年度 実績
船 舶	3,023	3,109
鉄 構 建 設	538	599
機 械	1,794	1,970
プ ラ ン ト	1,014	965
そ の 他	223	224
合 計	6,592	6,867

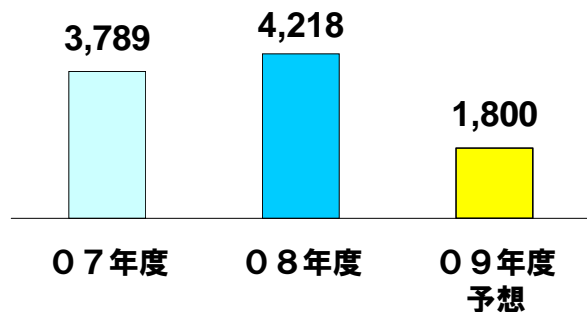
③

③ 営業利益	07年度 実績	08年度 実績
船 舶	137	34
鉄 構 建 設	16	26
機 械	234	214
プ ラ ン ト	△58	△27
そ の 他	32	22
合 計	361	269

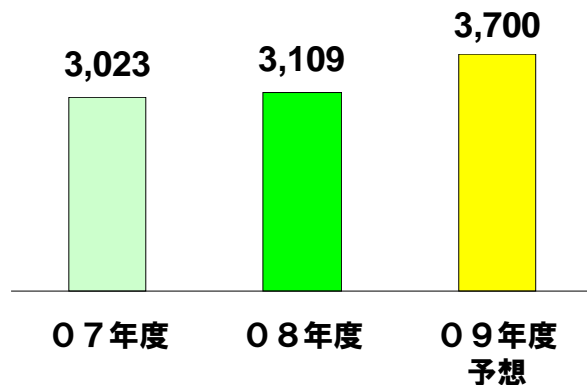
連結決算の概要－船舶部門

(単位：億円)

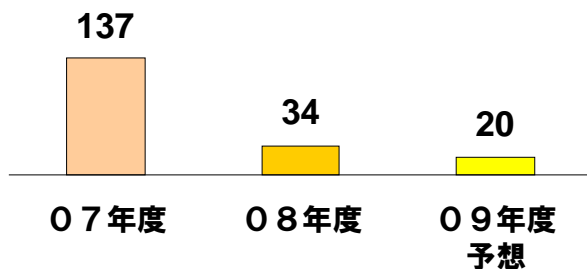
受注高



売上高



営業利益



前半は好調、 後半は減速（受注高）

○受注高

- ・ 子会社は総じて堅調
- ・ 単体は56BCを中心に前半好調、金融危機を契機に後半は様子見へ
- ・ 手持工事量は約4年分弱を確保

単体実績 (隻数)	07年度		08年度	
	受注	引渡	受注	引渡
56BC	25	18	10	10

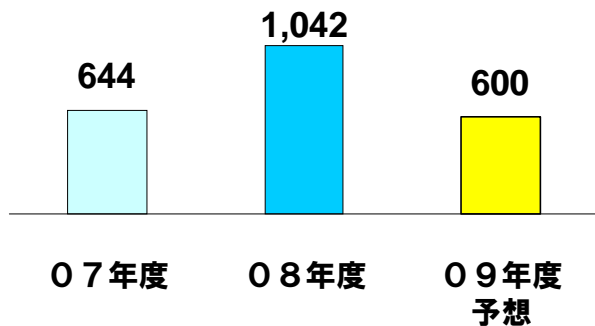
○売上高／営業利益

- ・ 売上高は昨年度並み
- ・ 営業利益はクレーン倒壊事故、資機材高騰、円高等により、悪化するも黒字を確保

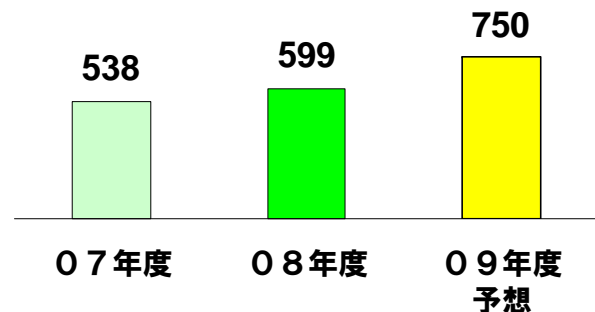
連結決算の概要－鉄構建設部門

(単位：億円)

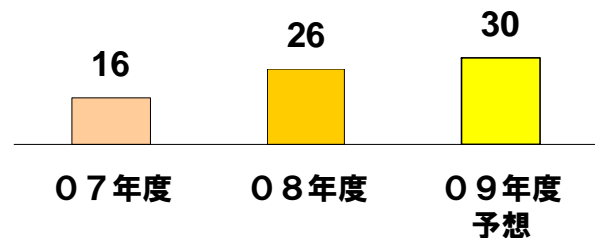
受注高



売上高



営業利益



過去最高の受注高

○受注高

- ・鉄構建設部門過去最高：1,042億円
- 大型海外土木工事の受注
- コンテナクレーンは計画通り

実績 (基数)	07年度		08年度	
	受注	引渡	受注	引渡
ポーターナ	22	15	17	20
トランスターナ	87	40	83	62

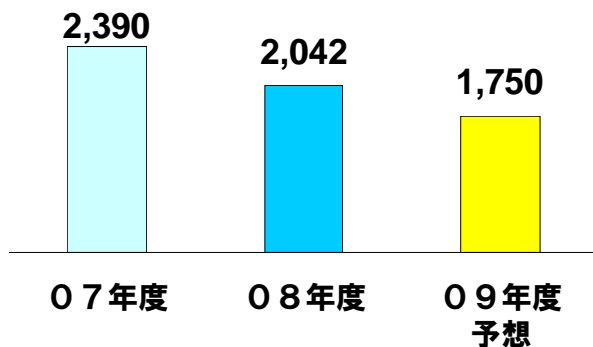
○売上高／営業利益

- ・コンテナクレーン売上は過去最高水準
- ・鉄構は増収増益
- ・全子会社黒字化

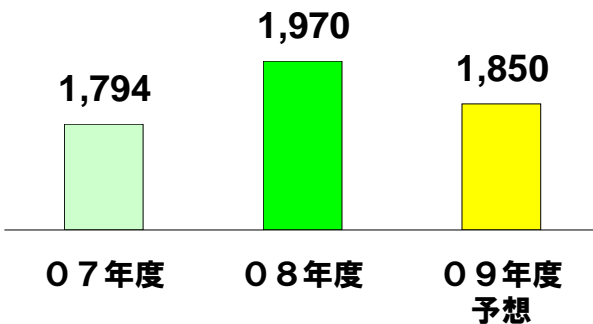
連結決算の概要－機械部門

(単位：億円)

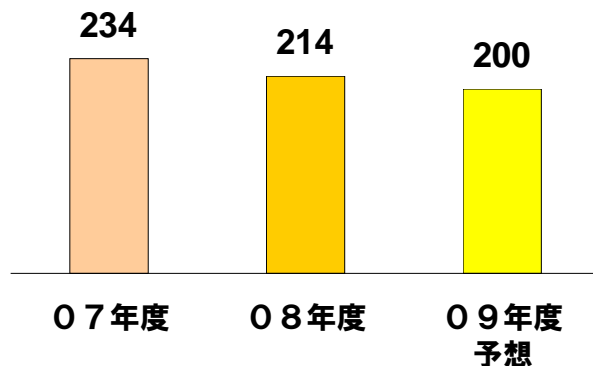
受注高



売上高



営業利益



受注減少も豊富な受注残高で 操業・利益水準をキープ

○受注高

- ・ 船用ディーゼル機関およびアフターサービス事業は順調
- ・ 産業機械事業は投資の抑制、延期により受注が減少 → 回復の時期が鍵

○売上高

- ・ 船用ディーゼル機関、産業機械などの主力事業および海外子会社が増加 (船用ディーゼル機関)

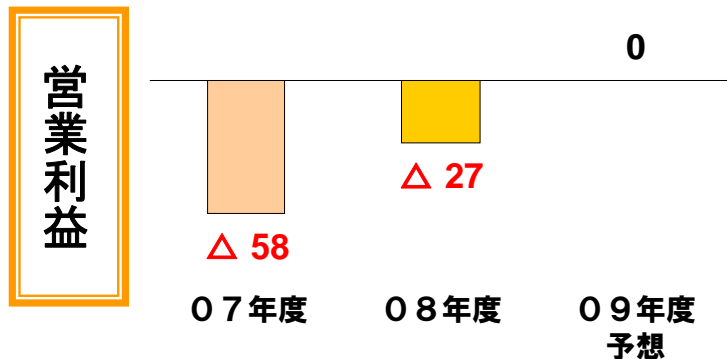
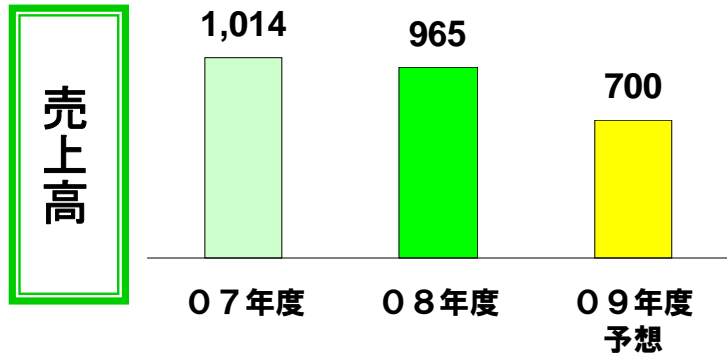
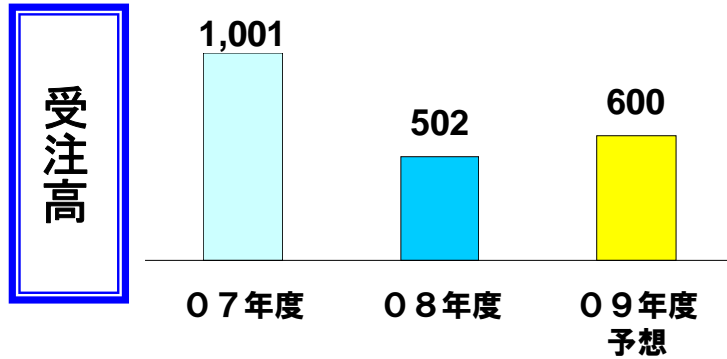
実績	07年度			08年度		
	受注	売上	受注残高	受注	売上	受注残高
基数	218	179	224	195	180	236

○営業利益

- ・ 半導体、液晶関連事業の損益が悪化するも、主力事業は昨年度の利益水準を維持

連結決算の概要ープラント部門

(単位：億円)



景気後退の影響で受注減少

○受注高

- ・ 前年同期比半減

○売上高／営業利益

- ・ 豊富な手持ち工事の進捗により、売上高は前年同期と同水準

売上高 内訳 (億円)	07年度	08年度
化学プラント分野	850	756
環境分野	164	209

08 中計について

1. 100周年ビジョンを見据え、「中計の基本方針」は保持

2. 環境変化に即し、09年度方針を新たに追加

09年度方針

- ① 中核事業の収益と受注の確保を最優先とする
- ② 成長事業の規模拡大と新規事業の創出は、
案件を絞ってスピードアップする

3. 09年度方針に基づき、部門戦略、投資計画を見直し

4. 想定外の環境変化に備え、コンティンジェンシー・プランを作成

事業戦略の前提を大きく覆す事態を想定し、事前対応策を計画に反映

リスク要因

例) 海上荷動量、海運市況
の低迷が長期化する

事前 対応策

リスクの顕在化に備え、
今の内から実行しておく施策

事後 対応策

リスクが顕在化した場合に、
発動する施策

5. 数値目標(10年度業績)については、経済動向を見極めてから

08年度 連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	07期末	08期末	増減		07期末	08期末	増減
流動資産	(3,935)	(4,320)	(385)	支払手形・買掛金	1,540	1,813	273
現預金	539	843	304	前受金	1,304	1,331	27
受取手形・売掛金	1,284	1,334	50	有利子負債	1,488	1,535	46
有価証券	65	24	△ 41	その他	1,027	1,107	80
棚卸資産	964	1,179	216	負債合計	(5,359)	(5,786)	(427)
その他	1,084	939	△ 145	資本金	444	444	0
固定資産	(3,180)	(3,073)	(△ 107)	資本剰余金	182	182	0
有形固定資産	1,927	2,084	157	利益剰余金	523	590	67
無形固定資産	161	123	△ 38	自己株式	△ 6	△ 6	0
投資有価証券	687	420	△ 267	評価・換算差額等	370	195	△ 174
その他	406	447	41	少数株主持分	243	202	△ 41
合計	7,115	7,393	278	純資産合計	(1,756)	(1,607)	(△ 149)
				合計	7,115	7,393	278

08年度 連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	07期末		08期末		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	6,592	(100.0%)	6,867	(100.0%)	274
売上原価	5,817		6,171		
売上総利益	775		696		
販売費及び一般管理費	413		427		
営業利益	361	(5.5%)	269	(3.9%)	△ 93
営業外収益	70		65		
営業外費用	109		100		
経常利益	322	(4.9%)	234	(3.4%)	△ 88
特別利益	59		44		
特別損失	78		94		
税引前利益	303	(4.6%)	184	(2.7%)	△ 119
法人税、住民税及び事業税	129		67		
法人税等調整額	△ 9		8		
少数株主利益	17		3		
当期純利益	166	(2.5%)	106	(1.5%)	△ 59

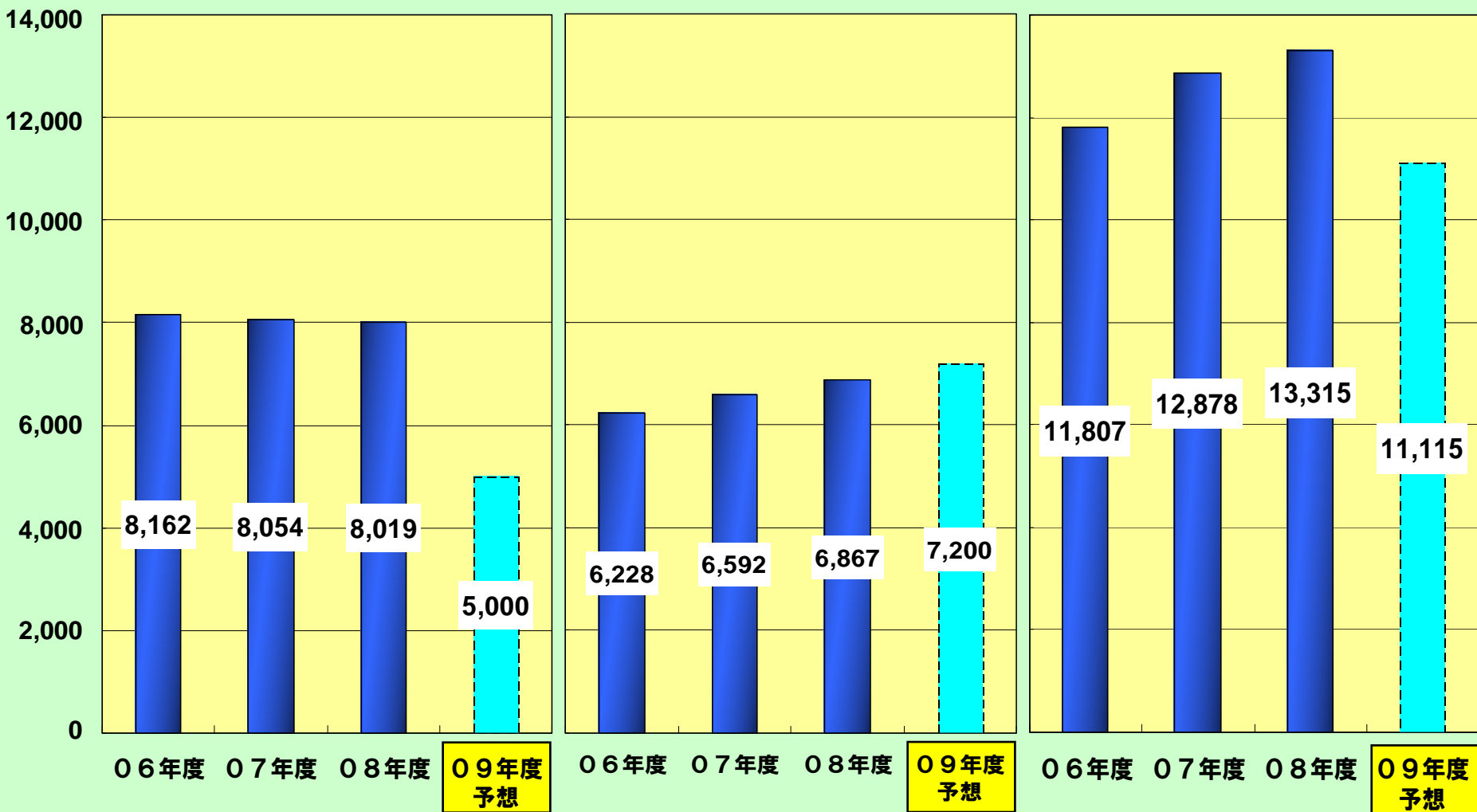
連結受注高・売上高・受注残高推移

(億円)

受注高

売上高

受注残高



連結売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

セグメント	07年度 実績		08年度 実績		09年度 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
船 舶	3,023	137	3,109	34	3,700	20
鉄 構 建 設	538	16	599	26	750	30
機 械	1,794	234	1,970	214	1,850	200
プ ラ ン ト	1,014	△58	965	△27	700	0
そ の 他	223	32	224	22	200	20
合 計	6,592	361	6,867	269	7,200	270

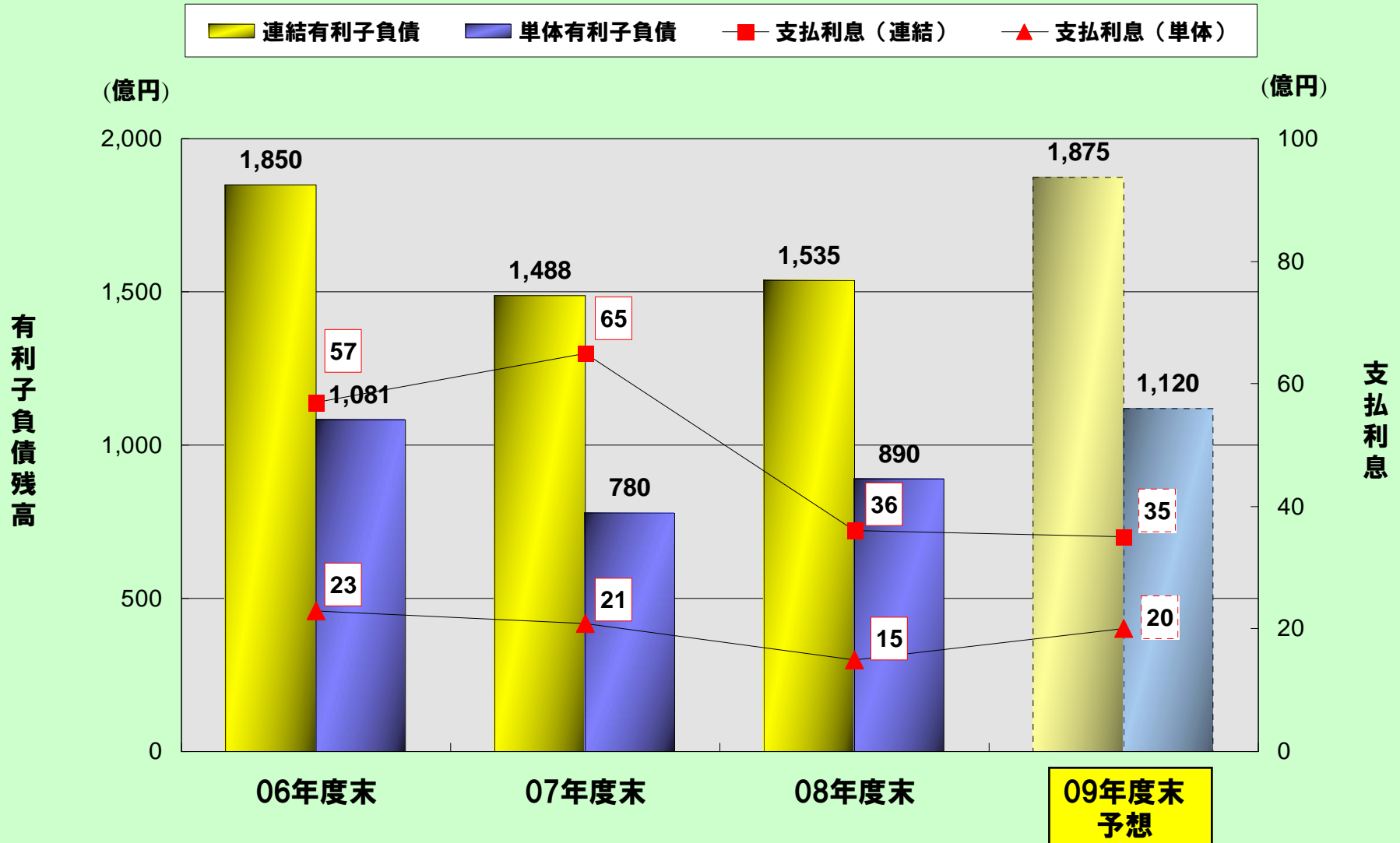
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘要	07年度 実績	08年度 修正予想	08年度 実績	09年度 予想
営業活動による キャッシュフロー	483	20	264	△110
投資活動による キャッシュフロー	△180	△180	△141	△370
財務活動による キャッシュフロー	△370	△50	79	310
有利子負債	1,488	1,440	1,535	1,875

＊08年度修正予想は08年11月5日公表の修正予想数値
 ＊有利子負債はリース債務を除く

有利子負債残高と支払利息の推移



*有利子負債はリース債務を除く